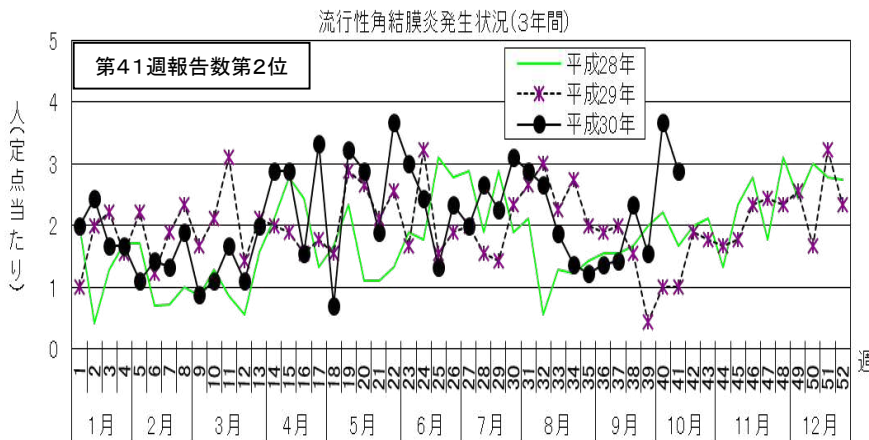
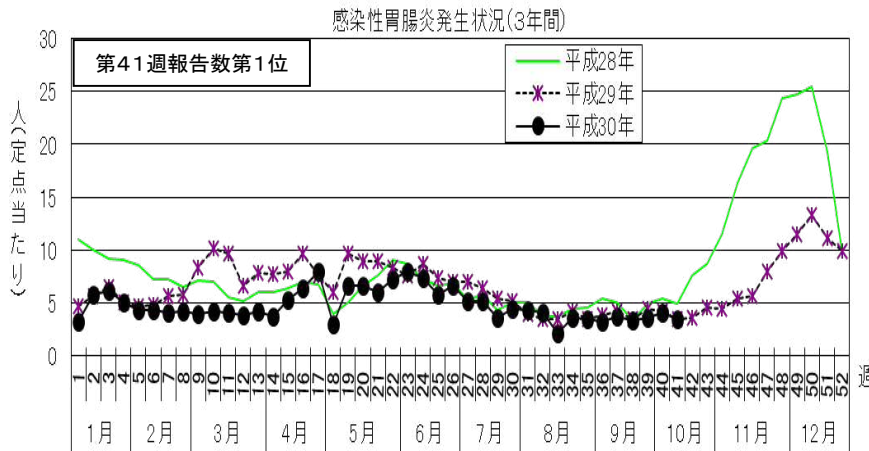


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年10月8日（月）～平成30年10月14日（日）〔平成30年第41週〕の感染症発生状況

第41週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.38人と前週（4.08人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.89人と前週（3.67人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.86人と前週（2.38人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

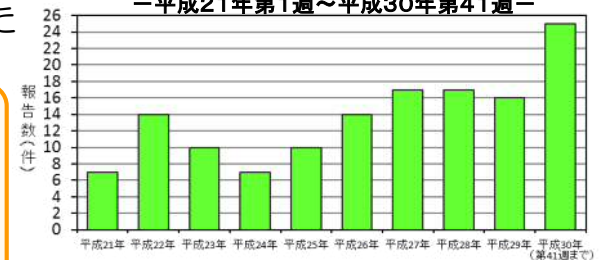


こんな病気に注意しましょう！～レジオネラ症～

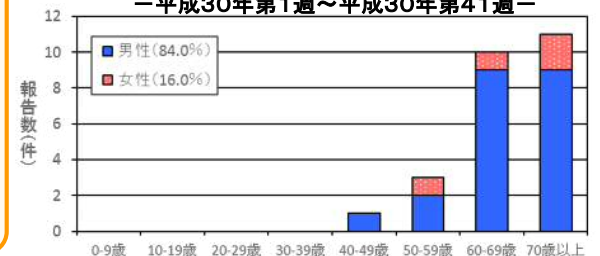
レジオネラ属菌は、水中や土壌中など自然界に広く生息しており、レジオネラ症の原因となります。

川崎市におけるレジオネラ症の報告数は、全国と同様に毎年徐々に増加しており、特に平成30年は第41週（10月8日～10月14日）までに計25件の報告があり、過去10年間で最多となりました。男性が全体の84.0%を占め、年齢階級別では特に60歳代以上が多くなっています。レジオネラ症は肺炎を発生すると急激に重症化することもあり、意識障害や呼吸困難などの症状もみられるため、注意が必要です。

川崎市におけるレジオネラ症報告数
 ー平成21年第1週～平成30年第41週ー



川崎市におけるレジオネラ症性別・年齢階級別発生状況
 ー平成30年第1週～平成30年第41週ー



レジオネラ症とは？



【主な症状】

レジオネラ肺炎
 発熱、咳、呼吸困難、下痢、意識障害など
 ポンティアック熱（肺炎にならない自然治癒型）
 突然の発熱、インフルエンザ様症状など

【感染経路】

レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル（空気中に浮遊している粒子）を吸引することにより感染
 ※人から人に感染することはありません。
 ※浴槽のお湯や加湿器の水などは新しいものを使用し、清潔を保ちましょう。また、高圧洗浄など、エアロゾルが発生する作業ではマスクを着用しましょう。